

事後評価調書

I 事業概要																										
事業名	農業農村整備事業（経営体育成基盤整備事業）																									
地区名	ほりわり 堀割地区																									
事業箇所	西尾市小間町 ^{おまちょう} 他																									
事業のあらまし	<p>本地区は西尾市の西部に位置し、一級河川矢作川に沿った水田地帯である。</p> <p>本地区の農地は、1954年から1955年までに団体営区画整理事業により一次整備が実施されたが、農地の区画は小さく、農道は幅員が狭いことから小型機械による営農を余儀なくされていた。また用水路は開水路であるため配水に苦慮しており、排水路も老朽化による能力不足もあり、効率的な営農に支障をきたしていた。</p> <p>こうした状況を改善するため、農地の区画拡大や用・排水路及び農道の改修など農業生産基盤の整備に併せて、農村環境を保全するための生活環境基盤の整備を行う経営体育成基盤整備事業を2011年度から実施し、2018年度に完了した。</p>																									
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 農業生産基盤の整備により、担い手経営面積の増加を推進する。</p> <p>【副次目標】 —</p>																									
事業費	事業費		内訳																							
	7.5億円		■工事費 5.3億円、■用補費 0.3億円、■その他 1.9億円																							
事業期間	採択年度	2011年度	着工年度	2011年度	完成年度	2018年度																				
事業内容	区画整理 47.8ha 農業集落排水路 0.5km																									
II 評価																										
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】 農業生産基盤の整備により、担い手経営面積の増加を達成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施前(2011)</th> <th>計画(2018)</th> <th>現在(2020)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担い手農家数</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>担い手集積面積</td> <td>27.9ha</td> <td>32.0ha</td> <td>36.3ha</td> </tr> <tr> <td>集積率</td> <td>56.6%</td> <td>67.1%</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>担い手1人当たり経営面積</td> <td>2.3ha</td> <td>2.7ha</td> <td>12.1ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】 農業生産基盤の整備による作業性の向上により、担い手への農地の集約も進み地域の農地利用の安定化が実現した。</p>					項目	実施前(2011)	計画(2018)	現在(2020)	担い手農家数	12人	12人	3人	担い手集積面積	27.9ha	32.0ha	36.3ha	集積率	56.6%	67.1%	76.1%	担い手1人当たり経営面積	2.3ha	2.7ha	12.1ha
	項目	実施前(2011)	計画(2018)	現在(2020)																						
担い手農家数	12人	12人	3人																							
担い手集積面積	27.9ha	32.0ha	36.3ha																							
集積率	56.6%	67.1%	76.1%																							
担い手1人当たり経営面積	2.3ha	2.7ha	12.1ha																							

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>
Ⅲ 対応方針		
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。	
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。	
同種事業に反映すべき事項	今後ともよりよい整備を行うためには、地域住民との意見交換を通じて、地域の体制や特性を反映し、地域の状況に即した整備が必要である。	